



大島事業所トピック

No. 309

(旧大島分場トピック)

平成 18 年 2 月 1 日

島しょ農林水産総合センター大島事業所発行
〒 100-0212 東京都大島町波浮港 18
Tel 04992 (4) 0381 Fax 04992 (4) 0383
ホームページ <http://www.fish.metro.tokyo.jp>

沖ノ鳥島は海の中のオアシス？

--- 沖ノ鳥島漁業調査 ---

東京港から南西へ約 1700 kmに沖ノ鳥島があります。この沖ノ鳥島周辺がどのような海洋環境なのか？どのような魚が分布しているのか？を把握するために、2005年11月21日～12月9日にかけて海洋環境調査および漁業調査を行いました。

・漁業調査！

沖ノ鳥島の周辺にある3海山(注1)(土星、木星、天王星の各海山)で試験操業を行いました。

中層トロール(注2)調査では各海山で水深300m、150m、表層の3水深で網を曳きました。網は全長90mで開口部が、30×30m、目合いが10mmのものを使用しました。調査は日中と日没後に行いましたが、日没後の方が多く採れる傾向がみられました。主な採集生物は、クロタチカマス科、ハダカイワシ科、イカ類等でした。サバ科の一種も漁獲されました。詳細は現在分析中です。さらに、漁業対象種であるカツオ、マグロ、ソデイカなどを対象として、たて縄の試験操業を行いました。その結果、ソデイカ、アカイカ、ヒレジロマンザイウオなどを採集しました。



写真1 中層トロール操業と漁獲物

・マグロ類の赤ちゃん確認！

プランクトン調査は、MTDネット、ボンゴネット、リングネット、ノルパックネットなどを用いて行いました。現在までに分析の終わったサンプルから11目27科49種の仔稚魚が確認されました。ハダカイワシ科、ギンハダカ科の仔稚魚が多く採集され、マグロの仲間のメバチの仔魚も採集されました。

今回採集された大きな口をもつメバチの仔魚は、孵化してからそれほど日数がたっていないと考えられ、メバチがこの海域で産卵を行っていることが考えられます。



写真2 メバチの仔魚(体長5.5mm)

・海の中のオアシス？

周囲を水深数千メートルの海に囲まれている絶海の孤島である沖ノ鳥島周辺では、栄養塩が乏しく生物量が少ないのではないかと予想されましたが、今回の調査でマグロなどの餌となる生物や、マグロ類の仔魚の生息が確認されました。この海域に関しては不明な点が多く残っています。今後も、さらに詳しい調査を行っていく予定です。

注1：海の中にある山のような地形のこと。漁場になっている場合が多い。

注2：通常のトロールは海底に網を着けて曳きますが、中層トロールは網を浮かして曳きます。